

令和8年熊本地震による被災地の復旧工事

現場パトロールを行いました

令和8年9月18日、熊本支援センターでは、本部と合同で熊本地震により被害を受けた八代市内の家屋解体工事現場等を巡回パトロールしました。

熊本県熊本地方では、7月28日、マグニチュード7.1の地震が発生し、最大震度7を観測しました。熊本市南部から八代市北部にかけて震度7から震度6強相当の揺れが生じ、人的被害は死者38人、負傷者333人、住家被害は全壊2,270棟、半壊6,357棟、一部破損43,552棟（9月24日現在。出典：総務省消防庁HP）にのぼり、水道などライフラインや交通機関などに大きな被害が出ました。

パトロールでは解体作業等の責任者に、解体用機械との接触防止、作業中の飛来・落下防止等について注意喚起を行い、作業に必要な防じんマスク、ペットボトル入りの水、安全衛生の資料等を手渡して、安全な作業を行うよう要請しました。

今回パトロールを実施した八代市は、震源地となった日奈久断層が北東から南東に走り、隣接する氷川町とともに被害の大きかった地域です。



歩道部分の橋桁が脱落した植柳橋

建設業労働災害防止協会では、自然災害からの復旧・復興工事や防災・減災工事に従事される建設事業者や作業員、発注機関や団体の皆様方を対象に、無料で現場パトロールや安全衛生教育を実施しています。お問合せ等については、各都道府県自然災害関連工事安全衛生支援センターまで御連絡ください。